

## 1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	地域の豊かな人権文化の創造に働きかける児童生徒の育成
----------	----------------------------

### ○調査研究のテーマを設定した目的

本校のある京北地域は、京都市の北部山間地域にあり、古くは平安京に木材を供給しており、独自の歴史・文化と豊かな自然に囲まれた地域である。主な産業は林業と農業であったが、その衰退とともに、少子高齢化、子育て世代の減少が地域の課題となっている。

本校は、3小学校1中学校が統合し、令和2年4月に施設一体型の義務教育学校として開校し、3ステージ制を導入している。(1stステージ(1～4年)、2ndステージ(5～7年)、3rdステージ(8・9年))。人権教育については、統合前から各校主任が集まり、9年間のカリキュラム作りを進めてきた。これまで3年間はそのカリキュラムを実践してきたが、その実効性や有効性について、見直す時期にきている。

地域の各団体の長は男性であり、男尊女卑とまではいかないが、家長は男性、女性はその男性を支える存在であるというような意識が強い地域でもあると言える。3世代が同居、もしくは近くに住んでいる児童生徒が少なからずおり、意識せずとも影響を受けている可能性もある。

ただ、最近では学年が下がるにつれて、Iターンの方が増える傾向にある。そうした中で、これからの京北地域の人権文化を創っていくのは、まさに今本校に通う児童生徒たちであるという意識のもと、地域の人権文化の創造に働きかける児童生徒の育成を目指すことが、本校としても、また地域としても求められることであると考え、本テーマを設定した。

### ○調査研究の概要

本校がこれまで行ってきた9年間の人権学習に、京北ふるさと未来科(総合的な学習の時間)の取組を加え、公開授業や発表の機会を捉えて、保護者、地域に発信していく学習を行う。また、学校運営協議会、PTA、地域の福祉機関との連携した取組も進め、本校のカリキュラムに関連させていき、児童生徒、保護者、地域が協働する人権学習を推進していきたい。そして、これらの取組が児童生徒の人権の3つの側面にどう効果があったのかをアンケート調査することで分析し、人権教育の向上に生かしていきたい。

## 2. 基本情報

### 研究指定校の概要

○学校名

京都市立京都京北小中学校

○これまでの研究指定等の状況

○学級数

15 学級（うち後期課程 7 学級（うち特別支援学級 1 学級）、前期課程 8 学級（うち特別支援学級 2 学級））

○児童生徒数（R.6.1.26）

全児童生徒数：214 名

○URL

<https://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=118101>

○指定理由

京都市立京都京北小中学校は、3 小学校 1 中学校の統合により施設一体型の義務教育学校として 9 年間を見通した系統的な教育活動に取り組んでいる。また、山間地域特有の歴史と伝統、豊かな自然環境と文化を基礎として、学校・子ども・保護者・地域が一体となり取り組んできた学校である。本事業の指定を受け、開校から 3 年間実施してきている教育実践の見直しとともに京北ふるさと未来科（総合的な学習の時間）の取組を融合することで、児童生徒の課題解決力の育成や発信による地域の活性化にも寄与するものと期待している。

○取り組んだ人権課題について

該当するものに○印、最も主要な人権課題1つに◎印を付与

①子供	
②女性	◎
③高齢者	○
④障害者	○
⑤同和問題	
⑥アイヌの人々	
⑦外国人	
⑧-1 HIV 感染者等	
⑧-2 ハンセン病患者等	
⑨刑を終えて出所した人	
⑩犯罪被害者等	
⑪インターネットによる人権侵害	
⑫北朝鮮当局による拉致問題等	○
⑬性的指向、性自認	○
⑭その他 ( )	

### 3. 調査研究の内容等

#### ○調査研究の内容

##### ①9年間の人権学習のカリキュラムマネジメント

統合前に各校の人権主任が作成した本校の人権学習の計画をこれまで3年間実践してきた。各種の人権課題について、9年間の社会科、特別の教科道徳、学級活動等の時間で学習できるよう網羅されているが、今一度、この9年間の人権学習計画を見直し、改良を加えた。その際、小中が連携しての取組や児童生徒会活動や行事との関連をさらに図り、マネジメントできるようにして、児童生徒が人権意識を繋げながら考える、9年間の人権学習ができると考えた。

##### ②京北ふるさと未来科（総合的な学習の時間）における人権学習の取組

8、9年の京北ふるさと未来科では、京北地域の課題を理解し、その解決の方策を考え、発信していく活動を行ってきたが、SDGsの視点をもって地域の課題を見つめ、考えることで持続可能な地域づくりの案を作成している。今回は、SDGsの17の目標のうちの「3すべての人に健康と福祉を」「5ジェンダー平等を実現しよう」に着目し、だれもが暮らしやすい京北地域づくりのアイデアを作成した。その際に、高齢者、障害者、LGBTQ等の様々な人権課題について知ることが必要となった。また、女性の立場の向上も課題になると考えている。それらの課題を解決するための方策を考え、発信することで、保護者、地域に働きかけた。

##### ③人権学習の公開授業に向けた取組

今後の実践に活かすため、休日参観授業と人権月間である12月に人権学習の公開授業を保護者と地域の方に対して行い、授業に対する意見を聞いた。休日参観授業については主に特別の教科道徳を中心に行った。また、それぞれに対して指導案を作成、検討する研修会を行い、教職員が人権意識を高められるようにした。

##### ④育成学級との交流

今年度から本校の育成学級は肢体不自由学級となるため、児童生徒にとっては新たな育成学級の状況となる。そのため、その理解について取り組むことが必要と考え、教科や行事における積極的な交流学习を通して感じたことを元に、育成学級児童生徒について理解をし、その知識をまた交流で活かす体験的な学びとその活用を実践した。

##### ⑤地域、保護者との連携した取組

本校の学校運営協議会とPTAそして地域の団体である福祉あんしん京北ネットワーク協議会では、あいさつ運動や講演会等を通して、人権啓発を行っている。これらの取組と学校の人権学習、京北ふるさと未来科、児童生徒会活動等に関連させる取組を進め、児童生徒、保護者、地域が協働で行う人権教育を推進した。そうすることで、児童生徒が地域の人権文化の担い手であることの自覚を高めることができると考えた。

##### ⑥教育委員会からの指導

年度当初に学校指導課人権教育担当首席指導主事等から、本校の研究について評価してもらい、その後も定期的な学校訪問による指導により、取組の修正を図ると共に、教職員の人権意識の向上をねらった。

#### ○実施方法

##### ①人権学習年間計画の見直し

人権学習年間計画に沿って実践を進めた。その学習の目的が知識的側面、価値・態度的側面、技能的側面であるのかを意識することに努めた。とりわけ、実施方法②の公開授業については、そのことを指導案に明記して取り組んだ。

##### ②公開授業

6月の休日授業参観での特別の教科道徳、12月の人権学習、いずれも指導案を作成し、学年、ステージ、人権推進委員会での検討を経て、実践に取り組み、その後の児童生徒アンケートでその変容を分析した。7年生においては、子どもの権利条約について学んだ後、拉致問題について考える学習を行い、児童生徒の感想について分析した。

##### ③京北ふるさと未来科の取組

京北ふるさと未来科の取組では、6年生において京北の福祉について学習し、高齢者施設や障害者施設での体験的な学習などを行った。その発表、まとめを通して学習の成果を分析した。また、8年生において、京北の未来を考える中で、地域で働く女性の方にお話を聞く機会を設けた。その感想も含め、京北地域の未来とジェンダー平等について考えた様子を感じやまとめを通して分析した。

##### ④育成学級の取組

前期課程においては、行事の他に体育科や図画工作科等において交流学习を積極的に行った。そして、2ndステージで育成学級の様子について知る学習にも取り組んだ。後期課程においては、行事や総合的な学習の時間において交流学习を行った。障害についての理解やかかわりについての態度について、学習の感想やアンケート結果を分析した。

##### ⑤地域と連携した取組

地域の団体である福祉あんしん京北ネットワーク協議会と協力し、6・7年生を対象に車いすバスケットボールの選手を招いての車いす体験、車いすバスケット体験を行った。体験後は選手に質問し、普段の生活や車いすバスケットをするきっかけや思いについて聞くことができた。児童生徒の感想やアンケートを分析し、活動の効果を考察した。

#### 4. 検証・評価・改善・普及

①人権学習の見直しを行い、精選と内容の充実を図った。精選については、外国人教育や総合支援教育、多様な性に関する学習を、低学年・中学年で1回程度の学習になるようにして、9年間で学びを意識した無理のない計画にした。また、②の公開授業に向けて、多くの学年で新たな教材を作成して取り組んだ授業を計画に入れ、充実を図ることもできた。しかし、今年度は行事や生徒会の取組等と関連させるところまでには至っていない。来年度はカリキュラムマネジメントを進め、その効果を検証できるようにしていきたい。

②公開授業後にいただいた保護者アンケートでは、約8割の方が家庭でも授業について話題にしたいと回答しており、授業を通して保護者・地域の方に人権問題について考えていただいたと思っている。来年度は他校へも授業を公開し、本校の取組を普及していきたい。

7年においては子どもの権利条約の学習をした後に、北朝鮮による拉致被害の事実について伝え、それがどのような権利を奪うことになるのかを考える学習を行った。人権アンケートの「あなたはどんな人権問題があることを知っていますか（自由記述）」について7年生では5月には拉致問題は0人であったが、12月には21人が拉致問題を挙げていた。人権学習を進めることで知識的側面は確実に高まることが実証できたと考えている。同時に、本実践では単に拉致問題について知るだけにとどまらず、それがどのような人権問題なのかを考えるとところまでをめぐらした。児童生徒の感想には「拉致問題を他人事とはせずに関心をもっていきたい」「私たちは次の世代にもこのようなことが起きていることを伝えていきたい」というものがあり、人権問題解決に向けて、知ることと関心を持つことの重要性に気づいていた。

③京北ふるさと未来科（総合的な学習の時間）において、6年生では京北地域の福祉について調べ、考える学習を行った。具体的には乳幼児、高齢者及び障害者を対象とした施設や地域の取組を調べ、訪問したり、交流するなどの体験学習を進めた。学習後のアンケート結果は以下のとおりである。

■相手の立場に立って物事を考えることがありますか（5～9年生）

%	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない
5月	42	51	6	1
12月	42	50	7	1

割合としてはやや減少しているものの高い割合で肯定の回答をしている児童生徒の割合が多い。高齢者施設や保育所での交流において、喜んでもらおうと思ってしていたことがなかなか上手くできない経験もしていた。相手の立場に立って考えているつもりでも、そうはなっていないことを経験する中で、相手の立場に立って考えることの難しさに改めて気づいたのではないかと考えている。しかし、交流後の児童生徒の感想には「おばあ

さんにありがとうと言ってもらえてとてもうれしかた」「施設の人は一人一人のことを考えて支えていることが分かった」というものがあり、自分たちが今後も関わっていく上で大切にしていきたいことに気づいていたことが伺える。

8年生では自分がこれまで目にしてきたジェンダーについての課題について交流した後に、地域の料理旅館で女将をしている方(学校運営協議会)に女将の仕事について講演をしていただいた。人権アンケートの結果から、「どんな人権問題を知っていますか(自由記述)」では、ジェンダーや男女差別ということを多くの児童生徒が回答している。また、京北地域の料理旅館の女将の講演の感想では「女性らしさというよりは自分らしさを大切に仕事をすることが大切だと思った」「女将の仕事はおもてなしをする大変な仕事だと思う。でも女性だからできるというものではなく、男女関係なくできるものでもあると思う」といった感想があり、多くの児童生徒がアンコンシャスバイアスなどの身の回りにある人権問題について気づき、これまでの知識を活かして自分なりに正しいことは何であるのかを考えることができた。

■日常生活にある差別に気づきますか(5～9年生)

%	気づく	どちらかといえば気づく	どちらかといえば気づかない	気づかない
5月	29	45	21	5
12月	28	44	20	8

しかし、人権アンケートの結果は若干ではあるものの、肯定した回答が下がっている。人権について深く考えた後に、自分を省みたときに肯定的な考えになるためには、実践行動につながる人権学習を進める必要がある。京北ふるさと未来科(総合的な学習の時間)の単元計画を見直し、実践行動の部分を充実させ、児童生徒が自分の人権感覚がブラッシュアップしていることを認識できるようにしていきたい。

④育成学級との交流学习は技術家庭科、音楽科等で行い、育成学級児童生徒と共に活動を進めた。また、行事においても積極的に交流を行い、2ndステージ(5～7年)の集会で担任が育成学級での学習の様子や特性について説明した。児童生徒の感想には「3組(育成学級)でも、私たちと同じように勉強を頑張っているのが分かった」「僕にも苦手なことはあるので、助け合っていきたい」というものであった。

■仲良くするために自分から働きかけていますか(5～9年生)

%	している	どちらかといえばしている	どちらかといえばしていない	していない
5月	35	48	14	3
12月	40	43	13	4

この人権アンケートの結果からは肯定の回答の割合が変わっていない。児童生徒の様子からも、遠慮があるのか積極的なかわりまでは見られない。今後も育成学級との交流学习を続け、特性を理解した上でのかかわりを考え、実践する機会を多くつくっていききたい。

⑤今年度は地域の団体である福祉あんしん京北ネットワーク協議会と連携し、6・7

年生に車いすバスケットの体験と車いすの体験、車いすバスケットの選手にインタビューする学習を行った。初めて車いすバスケットを体験する児童生徒が多く、操作が難しいことや鍛えれば走るように車いすを操作できるようになることに驚いていた。また、日常生活で使用する車いすの体験では、少しの段差でもタイヤが前に進まなくなることになり、段差のない部屋等の効果に改めて気づいていた。児童生徒の感想では「車いすの生活になっても自分のできること、好きなことを頑張ろうと思うのはすごいことだと思う」「車いすの人が段差などで困っていたら、助けてあげたいと思った」というものがあった。一緒に学習を進めてくださった地域の方からは「子どもたちが体験を通して、車いすの生活の大変さに気づき、自分ができることを考えているのが分かった。こうした取組は今後も続けていきたい」という意見をもらった。

■人が困っているときは進んで助けていますか（5～9年生）

%	助けている	どちらかといえば助けている	どちらかといえば助けていない	助けていない
5月	35	58	5	2
12月	41	50	9	0

この人権アンケートからは「助けている」と答えた児童生徒の割合が増えている。障害のある人への対応を体験的に学び、実践行動まで考えることができたものと考えている。



4年	<p><u>いじりといじめ</u> (道徳)</p> <p><u>決めつけないで</u> (道徳)</p> <p><u>よわむし太郎</u> (道徳)</p> <p><u>にまりめたいね</u> (道徳)</p> <p><u>ちこく</u> (道徳)</p>	<p><u>からだの成長</u> (保健)</p> <p>プライベートゾーンについて学ぼう (保健)</p> <p><u>「将来なりたい職業を見つけて準備しよう」</u> (学活)</p>		<p><u>「パスがきましたよ」</u> (道徳)</p> <p><u>心を伝えよう「アイマスク」</u> 体職 (国語)</p>	<p><u>「ユンノリ」で遊ぼう</u> (学活)</p>	<p><u>海をこえて</u> (道徳)</p> <p><u>いろいろな食べ方</u> (道徳)</p>	<p><u>交かんメール</u> (道徳)</p>	<p>認知症って、何だろう (学活)</p>	4
5年	<p><u>名前のない手紙</u> (道徳)</p> <p><u>うばわれた自由</u> (道徳)</p> <p><u>折れたタワー</u> (道徳)</p> <p><u>すれちがい</u> (道徳)</p>	<p><u>心の健康、心の発達と思春期の心</u> (保健)</p> <p><u>「いろいろな家族」</u> (学活)</p>	<p><u>古いバケツ</u> (道徳)</p>	<p><u>命</u> (道徳)</p> <p><u>手話について知ろう</u> (学活)</p>	<p><u>韓国半島の産業や生活などを通して日本との関係に関心をもつ</u> (学活)</p> <p><u>日本と韓国・朝鮮の文化を比べて</u> (学活) (資料 PP)</p> <p><u>ちゃんこ</u> (家庭科・音楽)</p>	<p><u>ペルーは泣いている</u> (道徳)</p> <p><u>マインツからのお便り</u> (道徳)</p>	<p><u>のりづけされた詩</u> (道徳)</p> <p><u>知らない間のできごと</u> (道徳)</p> <p><u>ケイタイ教室</u> (学活)</p>		5
6年	<p><u>わたしのせいじゃない</u> (道徳)</p> <p><u>ぼくだって</u> (道徳)</p> <p><u>ロレンゾの友達</u> (道徳)</p> <p><u>25人でつないだ金メダル</u> (道徳)</p> <p><u>「私たちのくらしと日本国憲法」</u></p> <p><u>「今に伝わる室町文化」</u></p> <p><u>「大阪城と豊臣秀吉」</u></p> <p><u>「人々のくらしと身分制度 (江戸)」</u></p> <p><u>「旗染一揆」</u></p> <p><u>「新しい学問・蘭学」</u></p> <p><u>「明治の新しい世の中」</u></p> <p><u>「水平社運動」</u></p> <p><u>「これからの日本を考えよう」</u> (社会)</p>	<p><u>メディアリテラシーと性情報</u> (学活)</p> <p><u>助産師が行く！ いのちの出前講座</u> (学活)</p> <p><u>すべての人が「自分らしく」生きられる社会って？</u></p> <p><u>「わたしの体とわたしの心」</u> (学活)</p>	<p><u>言葉の贈り物</u> (道徳)</p> <p><u>ノーベル賞の受賞者はどうして男性が多いの？</u> (学活)</p> <p><u>「大正時代の女性の権利と地位向上を目指す運動」「戦後の改革」</u></p> <p><u>「これからの日本を考えよう」</u></p> <p><u>「私たちのくらしと日本国憲法」</u> (社会)</p>	<p><u>スポーツの力</u> (道徳)</p> <p><u>命のアサガオ</u> (道徳)</p> <p><u>手話で話そう</u> (学活)</p> <p><u>一生懸命生きる</u> (学活)</p>	<p><u>渡来人・奈良の大仏・朝鮮出兵・韓国併合・創氏改名</u> (社会)</p> <p><u>雨森芳洲と朝鮮通信史</u> (ゆめいっぱい道徳)</p> <p><u>自分たちの文化を大切にするために～コリア民族教室から学ぶ～</u> (学活)</p> <p>外国の文化に親しもう (家庭科・音楽・総合)</p>	<p><u>東京オリンピック国旗にこめられた思い</u> (道徳)</p> <p><u>エルトワールル号ー日本とトルコのつながりー</u> (道徳)</p> <p><u>緑の闘志</u> (道徳)</p>	<p><u>ほんとうのことだけど</u> (道徳)</p> <p><u>カスミと携帯電話</u> (道徳)</p> <p><u>自分を守る力って？</u> (道徳)</p> <p><u>ケイタイ教室</u> (学活)</p>	<p>京北の福祉について考える (総合)</p>	6
7年	<p><u>いじめに当たるのはどれだろう</u> (道徳)</p> <p><u>傍観者でいいのか</u> (道徳)</p>	<p><u>思春期の心とからだ</u> (学活)</p> <p><u>生命誕生の科学的理</u></p>	<p><u>ちがいのちがいの</u> (学活)</p> <p><u>「異性の尊重と性情</u></p>	<p><u>車いすパラリンピアの日常生活</u> (学活)</p> <p><u>遠寿号に乗って</u> (道徳)</p>	<p><u>子どもの権利条約について考える・拉致問題</u> (学活)</p>	<p><u>日本からきたおばさん</u> (道徳)</p>	<p><u>短文投稿サイト</u> (道徳)</p>		7

		<p>席替え (道徳)</p> <p>その人が本当に望んでいること (道徳)</p> <p>「室町時代の文化とその広がり」 (社会)</p>	<p>解 (学活)</p> <p>「性の多様性」 (学活)</p>	<p>報への対処」 (保健体育)</p>	<p>共に支え合う社会をめざして (学活) (資料PP)</p>	<p>「隣接地域との関係」 (社会)</p>				
08年		<p>「江戸時代の百姓と町人」 「社会運動の広がり」 (社会)</p> <p>私のせいじゃない (道徳)</p> <p>あの子のランドセル (道徳)</p>	<p>相手を大切にすることで (デートDV) (学活)</p> <p>性情報について (学活)</p> <p>誰もがありのままの自分でいられるために (学活)</p> <p>資料PP</p>	<p>ジェンダーバイアスを問い直す (学活) (資料PP)</p>	<p>今度は私の番だ (道徳)</p>	<p>日本と韓国・朝鮮の関係から多文化理解・多文化共生に関わる課題を考える (学活) (資料PP)</p> <p>「韓国併合」 (社会)</p>	<p>6千人の命のピザ (道徳)</p> <p>「世界の民族音楽に親しもう」 (音楽)</p> <p>多文化共生の未来を生きる</p>	<p>ゴール (道徳)</p>	<p>持続可能な京北のまちをめざして (総合)</p>	8
09年		<p>同和問題の歴史的背景と今日的な課題【前期・6月】</p> <p>無実の罪 (道徳)</p> <p>ある日の午後から (道徳)</p> <p>「大正デモクラシー」 (社会)</p> <p>人権ゆかりの地 (学活) (資料)</p> <p>私が選んだ人権問題 (学活)</p>	<p>ライフプラン性をどう生きるか (学活)</p> <p>性感染症 (学活)</p> <p>多様な性に関する課題 (学活) (資料PP)</p> <p>ジェンダーフリーという考え方 (学活)</p>	<p>「日本国憲法の成立」</p> <p>「日本国憲法と国民主権」 「男女共同参画社会をめざして」 (社会)</p>	<p>伝えたいことがある (道徳)</p>	<p>外国人差別 (在日) を正しく認識し、それぞれの進路を考える中で、共に生きることとはどういうことかを学ぶ。(学活・人権教育指導集)</p>	<p>人間の命とは (道徳)</p> <p>ハッチを開けて、知らない世界へ (道徳)</p> <p>そのこの世界、私の世界 (道徳)</p> <p>「日本に住んでいる外国人」 「国際社会と日本の役割」 (社会)</p>	<p>スマホに夢中 (道徳)</p> <p>合格通知 (道徳)</p>		9
	人権の日の取組	<p>人との関わり・同和問題指導</p>	<p>性に関する学習</p> <p>多様な性に関する学習 (LGBTQs)</p>	<p>男女平等教育</p>	<p>総合育成支援教育</p>	<p>外国人教育</p>	<p>国際理解</p>	<p>情報モラル (SNS/携帯)</p>	<p>高齢者 幼児・乳幼児</p>	

## 6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）

